目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目·要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

▍対象部局	社会学研究科
大項目	7 国際交流 (研究科)
中項目	
小項目	7.0.1 国際交流(国内外における教育研究交流)についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	7.0.2 国際交流(国内外における教育研究交流)を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性
	(KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況 (院)

Ⅱ. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度~2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。 進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。 A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

A: 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。

B: 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。

C: 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。

D: 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」 左記目標の「指標」						
在记口"赤沙" 181东]		2009	2010	2011	2012	2013
→国際交流方針のホームページ、 広報誌での明示の有無、英語版 ホームページ開設の有無	\Box	С	O	С		
→派遣および受入学生の有無	\Box	С	С	С		
→実施プログラム数(セメスター に 1 回)	\Box	В	В	В		
国際交流における学内他部局との 連携機関の設置の有無及びその結 果としての受入学生数	\Box	D	O	С		
	広報誌での明示の有無、英語版 ホームページ開設の有無 →派遣および受入学生の有無 →実施プログラム数(セメスター に1回) 国際交流における学内他部局との 連携機関の設置の有無及びその結	→国際交流方針のホームページ、 広報誌での明示の有無、英語版 ホームページ開設の有無 →派遣および受入学生の有無 →実施プログラム数(セメスター に1回) □際交流における学内他部局との 連携機関の設置の有無及びその結	2009 2009	 左記目標の「指標」 2009 2010 →国際交流方針のホームページ、広報誌での明示の有無、英語版ホームページ開設の有無 →派遣および受入学生の有無 □ C C C B 国際交流における学内他部局との連携機関の設置の有無及びその結 □ C 	 左記目標の「指標」 2009 2010 2011 →国際交流方針のホームページ、広報誌での明示の有無、英語版ホームページ開設の有無 →派遣および受入学生の有無 □ C C □ C C □ B B B 国際交流における学内他部局との連携機関の設置の有無及びその結 □ D C C 	2009 2010 2011 2012 →国際交流方針のホームページ、広報誌での明示の有無、英語版ホームページ開設の有無

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」		2009	2010	2011	2012	2013
	\rightarrow	$\qquad \qquad \Box \rangle$					
	\rightarrow	$\qquad \qquad \Box \rangle$					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

	目標1	『関西学院大学 大学院案内』の社会学研究科の項において、外国語による論文執筆や外国語によるプレゼンテーションのための教育 プログラムについて示している。
	目標2	外国人留学生4名を受け入れた。
☆	目標3	オーストラリア国立大学で開催されるAsia Pacific Weekというセミナーを、大学院生への教育支援活動の一環として位置づけている。
	目標4	国際教育協力課と連携を取って入試広報を行ない、その結果、2012年4月には4名の外国人留学生を受け入れた。
	備考	

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能なため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【社会学研究科】				単位	2007	2008	2009	2010	2011	2012	備考	
指標1 国際交流協定締結機関数				機関	1	_	_	_	ı	_		
指標2 国際交流協定締結国数					1	_	_	_	_	_		
	海外からの受け入れ学生数	国 数		国	_	_	_	_	_		累計数	
		外国人留学生	正規	人	9	8	6	5	2	4	・※5/1現在(学校基本調査) ・正規とは学位取得目的 ・特別学生を含む	
指標3		が国人田子工	交換	人	1	0	0	0	0		・累計数 ・交換は正規以外とする。 ・大学院短期留学を含む	
		外国人留学生 在籍学生比率	正規	%	15.5	25.8	21.0	17.0	7.4	12.1	以京しの労み・大然労み を	
			交換	%	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0		- 外国人留学生÷在籍学生数 	
		その他 (セミナー等による れ)	る受け入	人	_	_	_	_	_			
	海外への派遣学生数	国数	Ţ	国	_	_	_	_	_		累計数	
		人数	長期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1学期以上を「長期」	
指標4		人数	短期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1学期未満を「短期」	
		大签学生认表	長期	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		~ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
		在籍学生比率	短期	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		海外へ派遣した学生数÷在籍学生数 	
+6+番-			長期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1年間以上を「長期」	
1日信3	海外からの受け入れ教員数	短期		人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1年間未満を「短期」	
七七十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	海外への派遣教員数 短期		長期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1年間以上を「長期」	
1百樣(5			人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1年間未満を「短期」		
指標7 国連ボランティア(UNV)の参加者数				人	_	_	_	0	0		・累計数 ・春・秋の合計	

※指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)